

<b>Title</b>	聖学院大学総合研究所紀要創刊にあたって
<b>Author(s)</b>	大木, 英夫
<b>Citation</b>	聖学院大学総合研究所紀要, No.1, 1990.9 : 3-4
<b>URL</b>	<a href="http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=2974">http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=2974</a>
<b>Rights</b>	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository for academic archiVE

## 聖学院大学総合研究所紀要創刊に当たって

聖学院大学総合研究所は、聖学院大学の創設に際して、大学設立の理念を確立しそれと共にカリキュラムや教員組織などに至るまで検討構想するため、学校法人聖学院理事会によって設置された「理念検討委員会」を継承し発展させて、大学設立と同時に発足した研究所であります。そこでの主たる議題は、「なぜ今新しいキリスト教大学か」という問題でありました。しかしこの問題は、今日の社会や文化に対する新しい大学の役割の問題と深く関係しており、さらに研究の継続と発展を要求するものであります。もしこの委員会が聖学院大学の母胎であり、大学がその子であるならば、総合研究所は、その母胎の継続であるとも言えるかも知れません。「理念検討委員会」の研究的雰囲気とまた使命感とは、この総合研究所へと受け継がれてまいりました。これには、聖学院の高等教育関係者（聖学院大学や女子聖学院短期大学の教授会メンバー）が所属するのみならず、広く聖学院全体の教職員の希望者も参加を歓迎され、すでに数度の講演会や研究会を継続的に開催してまいりました。この運営のためには、聖学院教育振興会（会長米山文雄氏）からの寄付を頂いております。

総合研究所の活動は、今後さらに充実していくことが期待されており、必要に応じて、更に主題を限定した専門分科研究所へと分化していくことも望ましいと考えられております。しかし、当分の間は、このよう

な包括的な形で、それぞれの分野の研究発表がなされたり、講演会が企画されて行くことになると思います。聖学院大学は『聖学院大学論叢』を、女子聖学院短期大学は『女子聖学院短期大学紀要』を発行しております。この度刊行される『聖学院大学総合研究所紀要』は、本研究所の活動を背景とした雑誌であり、そこでの成果の発表機関であります。しかしそれに必ずしも限定されず、本研究所との関連で適当かつ有益と判断される研究発表とか講演記録なども収録されます。ここに創刊される第一号は、主として当研究所での初期の研究発表や講演を収録しておりますが、それ以外のものも含んでおります。京極純一氏のものは、大宮市のソニック・シティの大ホールで行われた聖学院大学開学記念講演であります。最後のわたしのものは、青山学院大学で行われたキリスト教学校教育同盟関東部会での講演であります。その中で聖学院大学の理念の中で用いられた「霊的」という言葉に関連したものであることから、関係者の意見をいれ、ここに収録することに致しました。ご高評またご指導を賜わりたくお願い致します。

一九九〇年八月二〇日

聖学院大学総合研究所長 大木英夫